

イエメン共和国
教育省
タイズ州教育局

タイズ州 地域女子教育向上計画

プロジェクト事業完了報告書
(和文要約)



平成 20 年 11 月
(2008 年)

独立行政法人 国際協力機構



人間
JR
08-056

イエメン共和国
教育省
タイズ州教育局

タイズ州 地域女子教育向上計画

プロジェクト事業完了報告書
(和文要約)



平成 20 年 11 月
(2008 年)

独立行政法人 国際協力機構



学校委員会の会合
(Asem Bin Thabit 校、Al-Makha 郡)



男性の契約教員と女子生徒
(Al Shahead Alokial 校、Maqbanah 郡)



裁縫教室で作った BRIDGE バッグ
(Omar Al Moktar 校、Mawiiyah 郡)



BRIDGE で増設した教室
(Ghail Bani 校、Al Waziyah 郡)



BRIDGE では地域住民が校舎建設を担う
(Al Nagda 校、Same 郡)



BRIDGE で購入した飲用水タンク
(Al Dowsh 校、Dhubab 郡)



契約教員と生徒
(Al Qods 校、Same 郡)



生徒達
(Baha Al Dean 校、Mawiyah 郡)



オープン・デイイベントでの歌発表
(Al-Waadah 校、Maqbanah 郡)



啓蒙ミーティング
(Al Fawz 校、Al Waziyah 郡)



学校集会
(Bab-Al Mandeb 校、Dhubab 郡)



BRIDGE 署名式
(Al Makha 郡)



木造教室内部の様子



女子生徒と先生



放課後、教室から出てくる女子生徒



学校活動に向かう女性達



識字教室の様子 (Mawiiyah 郡)



裁縫教室の様子 (Mawiiyah 郡)

タイズ州地域女子教育向上計画 プロジェクト事業完了報告書 （和文要約）

目 次

1.	プロジェクトの概要	1
1.1	プロジェクト期間	1
1.2	プロジェクトの目的と目標	1
1.3	対象地域	1
1.4	裨益者	3
1.5	プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)	3
1.6	プロジェクト運営実施体制	3
1.7	活動計画と投入	4
2.	達成事項と成果	5
2.1	上位目標の達成状況	5
2.2	プロジェクト目標の達成状況	5
2.3	成果の達成状況	6
3.	インパクト分析	8
3.1	就学数の増加（男女共）	8
3.2	学習環境の改善	10
3.3	学校－地域の協力関係の醸成	11
3.4	女子教育の阻害要因についての認識の変化.....	12
3.5	学校による契約教員の雇用が、女子就学の鍵である	14
4.	教訓と提言	16
4.1	地方の中でもさらに後進地域を対象地域に含める.....	16
4.2	学校へのアクセスと教育の質の両方を同時に勘案する.....	16
4.3	地元出身の教員を雇用する	16
4.4	「包括的な学校改善」は学校－地域関係を活性化する.....	17
4.5	イスラム教に基づく就学促進メッセージを、複数チャネルを通じて普及する	17
4.6	「包括的な学校改善」事業におけるDEO、州教育局担当官の能力強化とは.....	18
4.7	省庁間の協力体制の確立	18
4.8	BRIDGE対象範囲拡大に伴う提言	18

付 録

1. Project Design Matrix (PDM⁰ and PDM¹)
2. Dispatch Schedule of Experts
3. Program of Counterpart Training in Japan
4. Plan of Operation
5. Work Flow
6. Provision of Equipment and Materials
7. Local Costs by the Japanese Side
8. Records of JCC Meetings
9. Impact Assessment Report
10. List of Submitted Reports
11. List of BRIDGE Awareness Materials
12. Related Documents on Hiring Contracted Teachers

図

図 1：タイズ州と対象郡	2
図 2：BRIDGE 実施体制	4
図 3：女子生徒比率（対男子生徒）の変化	9
図 4：保護者の認識：娘にどこまで教育をうけさせるか.....	12

表

表 1：BRIDGE 対象郡と対象校	1
表 2：BRIDGE の想定する裨益者	3
表 3：プロジェクト目標の指標と達成状況	5
表 4：就学者数の変化（2004→2007 年）	5
表 5：BRIDGE 成果指標と達成状況	6
表 6：インパクト分析における標本数（エンドライン調査）	8
表 7：生徒の就学状況（パイロット 59 校）	9
表 8：生徒の就学状況（コントロール 25 校）	10
表 9：女子生徒比率（対男子生徒）（対象郡）	10
表 10：利用できる学校施設数（対象 59 校合計）	11
表 11：地域・保護者についての校長の認識（サンプル数 59）	11
表 12：女子就学の阻害要因	12
表 13：女子就学、地域参加についての認識	13
表 14：BRIDGE 資金の支出先（3 ヶ年合計、活動別）	14
表 15：BRIDGE では何が効果的だったか？	15

略 語

BEDP:	Basic Education Development Project
BEDS:	Basic Education Development Strategy
BRIDGE:	Broadening Regional Initiatives for Developing Girls' Education
C/P:	Counterpart Personnel（カウンターパート）
CPU:	Community Participation Unit（地域参加課）
DEO:	District Education Office（郡教育事務所）
FC:	Fathers' Council（父会）
GEO:	Governorate Education Office（州教育局）
GES:	Girls' Education Sector (Ministry Level)（教育省女子教育局）
GEU:	Girls' Education Unit (Governorate Level)（州教育局女子教育課）
GFO:	Governorate Finance Office（州財政局）
GTZ:	Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit
JICA:	Japan International Cooperation Agency（国際協力機構）
MC:	Mothers' Council（母会）
MOE:	Ministry of Education（教育省）
OJT:	On-the-Job Training
SC:	School Committee（学校委員会）
SIP	School Improvement Plan（学校改善計画）
SY:	School year
S/W:	Scope of Works
UNICEF:	United Nations Children's Fund（ユニセフ）
USAID:	United States Agency for International Development
WFP:	World Food Program
WSD	Whole School Development（包括的な学校改善）
YER:	Yemeni Rial

1. プロジェクトの概要

国際協力機構 (JICA) は、2005 年 6 月から 2008 年 11 月にかけて、イエメン国において、技術協力プロジェクト「タイズ州地域女子教育向上計画 (BRIDGE)」を実施してきた。主たるカウンターパートは、教育省女子教育局、及びタイズ州教育局 (GEO) である。以下その概要を示す。

1.1 プロジェクト期間

2005 年 6 月から 2008 年 11 月 (42 ヶ月間)。

1.2 プロジェクトの目的と目標

プロジェクトの目的は、「タイズ州において女子教育促進に有効な地域住民・学校主体の地方教育行政モデルが開発される」である。

1.3 対象地域

タイズ州の 6 郡 (Maawiyah, Same, Maqbanah, Al Makha, Waziyah and Dhubab) を対象とした (6 郡内の 10 地区、59 校を対象)。

対象校・郡の選定方法：次のクライテリアに拠る。

- 郡教育事務所担当者の意欲 (全 23 郡によびかけ、意欲ある反応を見せた郡を選別)
- 女子就学の低い郡／地区
- 女子生徒の中退率が高い郡／地区
- 女子生徒数／女性教員の高い郡／地区

対象校およびタイズ州の地図を下に示す。

表 1：BRIDGE 対象郡と対象校

郡 (校数)	地区 (校数)	校名		
Same (6)	Sarabeiati (6)	Al-Nagda	Al-Eman	Al-Forqan
		Saba Yolyo	Al-Sa'eed	Al-Qods
Maawiyah (9)	Kamahera (4)	Al-Shaheed Al-Bahr	Osaid Bin Hodair	Mo'ath Bin Gabal
	Akharak (2)	Al-Hamza	Al-Tawhead	
	Al-Awman (3)	Al-Farooq	Omar Al-Mokhtar	Al-Shaheed Al-Thoulaih
Maqbanah (10)	Al-Akhoz (5)	Baha Al-Dean	Al-Tawhead	Al-Magd
	Al-Habaiba (5)	Abdullah Bin Rawaha	Al-Gabiri	
		Al-Wahda / Al-Masna	Al-Salah	Al-Esha'a
		Al-Thawra	Al-Hayah	

郡 (校数)	地区 (校数)	校名		
Al-Waziiyah (9)	Al-Daraifa (9)	Al-Zahra Al-Fawz Gail Bani Ali	Al-Methaq Al-Nagah Al-Wahda	Al-Fakead Ahmed Saif Al-Farooq Al-Shahead Ali Saif
Al-Makha (12)	Al-Gomah (12)	Al-Esha'a Gabir Bin Abdullah Saba Yolyo Al-Wahda	Al-Shahead Al-Zubairi Al-Ershad Al-Nasr Al-Hamza	Asem Bin Thabit Sae'ed Bin Gobair Al-Fath Al-Farag
Dhubab (13)	Bany Al-Hakam (13)	Al-Sha'ab Sa'ad Bin Obada Al-Dawsh Amr Bin Abdulaziz Al-Yaqadah	Bab Al-Mandab Al-Sahwa Ka'ab Bin Malik Al-Tomoh	Al-Amal Al-Fath Gazerat Mayoan Al-Wahdah

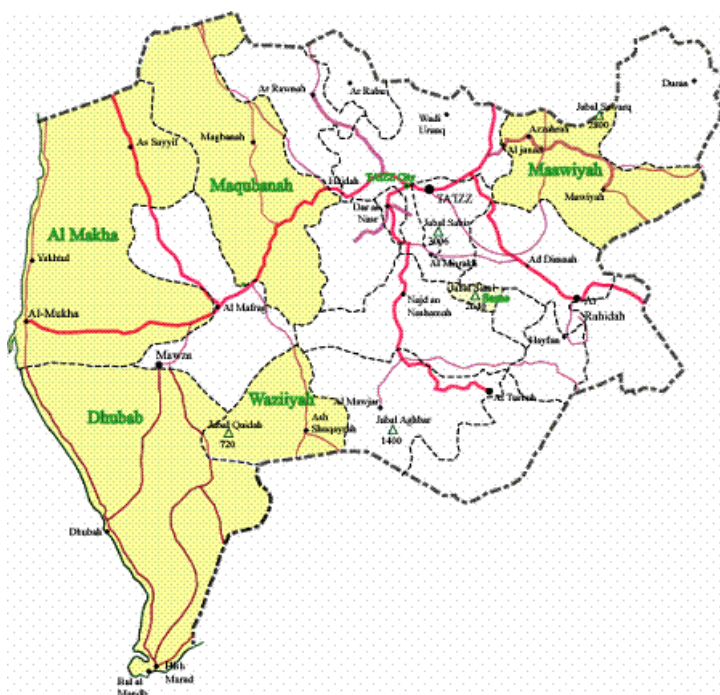


図 1：タイズ州と対象郡

1.4 裨益者

BRIDGE の裨益者には次が想定された。

表 2：BRIDGE の想定する裨益者

裨益者	構成
直接裨益者	<ul style="list-style-type: none"> - 学齢期児童（対象地域に約 21,000 人と推計） - 州教育局、郡教育事務所の担当者（約 35 名） - 校長と教員（校長 55 人、教員 555 名、契約教員 172 名）
間接裨益者	<ul style="list-style-type: none"> - 学齢期児童（タイズ州全体で約 40 万人と推定） - 州教育局、DEO の職員（約 1700 名） - 州内の校長、教員（約 2 万人） - タイズ州住民（約 200 万人）

1.5 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

BRIDGE の PDM には中間評価時に若干の改訂がなされた。改訂は指標の定義を中心としたもので、実際に入手可能なものに改めるのがその主旨であった。付録 1 に PDM を収録した。

1.6 プロジェクト運営実施体制

BRIDGEはタイズ州教育局に事務所を設置し、タイズを拠点に活動した。日本人専門家チーム（付録 2 参照）は、複数名のイエメン人を雇用し、タイズ州教育局、および対象 6 郡の郡教育事務所のC/P¹と「BRIDGEモデル」を共同開発した。首都サヌアの教育省女子教育局とは日常的に接触を維持し、BRIDGEの成果や方向性を恒常的に共有した。運営体制の模式図を下に示す。

¹ 日本における BRIDGE の C/P 研修の概要を付録 3 に所収した。

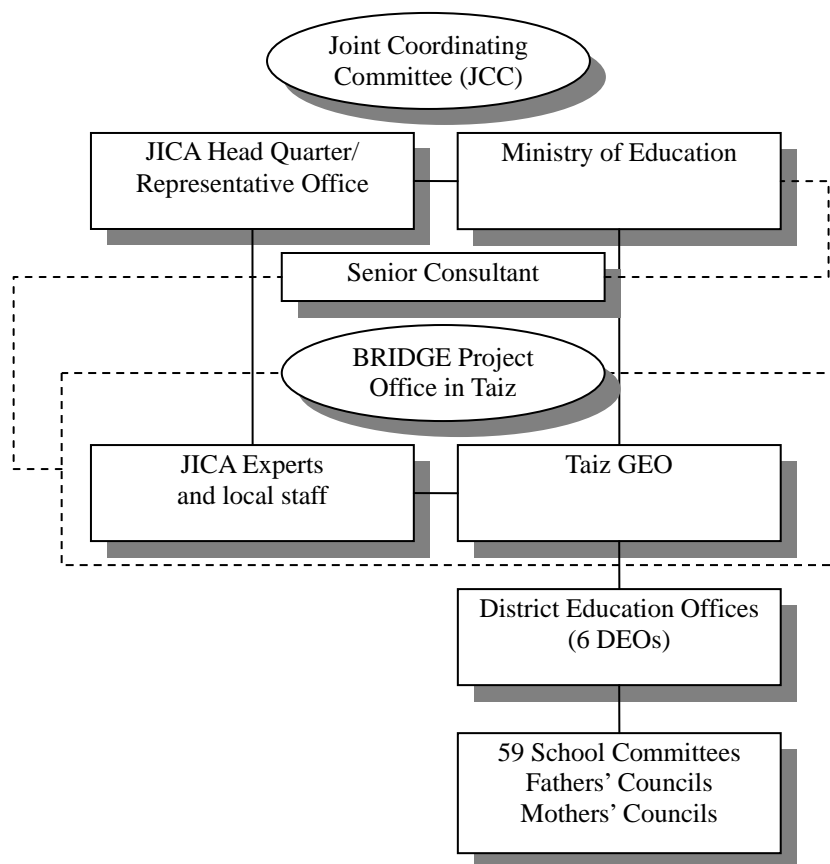


図 2：BRIDGE 実施体制

1.7 活動計画と投入

1.7.1 活動計画 (Plan of Operation) に実績情報を付したものを、添付 4 にまた活動の流れを添付 5 としてそれぞれ収録した。当初、ガイドライン策定やPDMの改訂は活動として位置づけられていなかったが、後ほど正規に活動として追記した。すべての活動は予定通り完了している。

1.7.2 これらの活動は、次の 4 つに分類し、案件運営に役立てた。

- 分類 A：実施・引継ぎ体制の整備とインパクト分析（付録 9 参照）（通期）
- 分類 B：学校改善活動の実施（通期）
- 分類 C：啓発キャンペーン（付録 11 参照）（通期）
- 分類 D：BRIDGE モデル／ガイドラインの周知と普及

1.7.3 その他供与機材、現地政府負担、JCC議事録、報告書リスト、及び契約教員に関する文書をそれぞれ添付 6、7、8、10、12 に収録した。

2. 達成事項と成果

2.1 上位目標の達成状況

上位目標と指標、及びその達成状況は次の通りである。

- 上位目標「タイズ州における基礎教育への女子生徒のアクセスが向上する」
- 指標「タイズ州の G1-G9 における男子生徒 1 人に対する女子生徒の比率」
- 達成状況：タイズ州の女子生徒比率は 2003/4 には 0.79 であったが、2007/8 には 0.82 にまで改善した。

2.2 プロジェクト目標の達成状況

BRIDGE のプロジェクト目標は「タイズ州において女子教育促進に有効な地域住民・学校主体の地方教育行政モデルが開発される」である。PDM に設定された指標とその達成状況は、次表に示す通りである。

表 3：プロジェクト目標の指標と達成状況

プロジェクト目標「タイズ州において女子教育促進に有効な地域住民・学校主体の地方教育行政モデルが開発される」																
指標	達成状況															
(ア) 女子教育促進の視点を含む BRIDGE モデル実施にかかるガイドラインが完成し、関係者によって理解される。	3 部構成の「タイズ州女子教育促進のための学校改善計画策定ガイドライン (Guidelines for the Whole School Improvement Initiative with a Special Focus on Increasing Girls)」が完成した。州教育局、DEO 関係者は同ガイドライン完成の当事者として内容を熟知している。															
(イ) 州教育局が開発されたガイドラインを用いて BRIDGE を実施することができる。	2007 年のドラフト版は、州教育局、DEO の主導により改訂した。2008 年からは、同ガイドラインを用いて、州教育局は州議会からの財源による BRIDGE を継続している。															
(ウ) パイロット対象郡における G1-G9 の男子生徒 1 人に対する女性生徒の比率が少なくとも 0.78 を下回らない。	<p>就学者数は次の通り。0.78 以上を達成した。</p> <p style="text-align: center;">表 4：就学者数の変化（2004→2007 年）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>合計</th> <th>女子/男子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベースライン (2004)</td> <td>6,080</td> <td>9,312</td> <td>15,392</td> <td>0.65</td> </tr> <tr> <td>エンドライン (2007)</td> <td>9,307</td> <td>11,958</td> <td>21,265</td> <td>0.78</td> </tr> </tbody> </table>		女子	男子	合計	女子/男子	ベースライン (2004)	6,080	9,312	15,392	0.65	エンドライン (2007)	9,307	11,958	21,265	0.78
	女子	男子	合計	女子/男子												
ベースライン (2004)	6,080	9,312	15,392	0.65												
エンドライン (2007)	9,307	11,958	21,265	0.78												
(エ) 男女ともに全生徒数が減少しない。	上記表の通り、全生徒数は増加した。															

2.3 成果の達成状況

BRIDGE には次の 4 つのプロジェクト成果が定められている。それぞれの指標とその達成状況を次表に示す。

表 5：BRIDGE 成果指標と達成状況

指標	達成状況
成果 1 「タイズ州の地方教育行政能力が育成される」	
(ア) 州教育局及び郡教育事務所行政官が BRIDGE 実施に係るそれぞれの役割と責任を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 州教育局、群教育事務所の行政官は BRIDGE 型の施策における役割分担をよく理解している。 月次会合、合同学校訪問、オープン・デイの企画運営、啓発イベントの実施等を通じ、州教育局、群教育事務所の行政官の能力は向上した。 群教育事務所行政官については、BRIDGE の執行能力を簡潔にまとめた「能力リスト」を準備し、それに沿った能力向上支援がなされた。 2008 年度から州 GEO は独自財源を用いた州 BRIDGE を開始する。
(イ) 州教育局及び郡教育事務所が BRIDGE 運営サイクルで必要な手順を最低限実施できる。	
成果 2 「基礎教育改善事業への地域住民参画が活性化される（対象：州教育局ならびにプロジェクト対象郡の郡教育事務所）」	
(ア) 郡教育事務所による地域住民参加の増加の評価	<p>局所的に差はあるが、全般的には地域住民の学校改善の参画は高まった（群教育事務所担当者の所見）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民たちは学校改善活動に責任をもって望むようになった。 地域のリーダーたちが、校長による学校改善を支援するような場面が多くなった。 地域のリーダー達が、女性の活動参加を働きかけるようになった。 女性が学校改善活動に関する意思決定に関与するようになった。
(イ) 学校及び地域社会による地域住民参加の促進の評価	<ul style="list-style-type: none"> 13.3%→99%（学校に協力したいとする保護者の割合、ベースライン時→エンドライン時） 4%→92%（学校は住民のためのものだ、とする保護者の割合） 77%が反対→88%が賛成（「学校改善に地域参加は不可欠である」）
(ウ) 保護者及び地域住民による教育の重要性の理解が増加する。	<ul style="list-style-type: none"> 36%→54%（子供の担任と学校・教育について議論する保護者の割合） 29%→39%（宿題を手伝う保護者の割合）

指標	達成状況
(エ) 学校改善活動における女性の参加が増加する。	<ul style="list-style-type: none"> • 36 の識字教室、19 の裁縫教室が開設された（3 年次）。 • 母会メンバーによる討論会（オープンデイ）は女性が学校の現状、改善について知る良い機会となった。
成果 3：学校運営能力が育成される（対象：学校長）	
(ア) 校長が BRIDGE 実施に係る役割と責任を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> • 「ガイドライン」に BRIDGE における校長の役割を明記し、また数次の研修を通じその周知を図った。 • 専門家チームの実施したインパクト分析によると、全ての校長の運営能力が満足できるレベルに到達しているわけではない。校長全員の能力向上を達成するのは、BRIDGE に与えられた期間内には不可能であった。
(イ) 校長が女子教育の重要性について理解を増す。	<ul style="list-style-type: none"> • 女子教育の重要性への理解については良好な変化が訪れた。 • 81%が反対→97%が賛成「男子も女子も同等に教育を受ける権利がある」 • 85%が反対→95%が賛成「息子、娘の両方がいた場合、その両方を学校にやる」
成果 4：BRIDGE モデルを対象校・郡以外に普及するための活動が開始される	
(ア) 州教育局が対象郡以外に BRIDGE の経験を共有するためのワークショップを企画・実施するプロセスに参加する。	<ul style="list-style-type: none"> • タイズ州教育局は 3 度にわたり BRIDGE を他郡に紹介する会合を催した（2008 年 6 月、7 月、10 月）。 • 州教育局は、対象校を現行 59 校から 119 校に拡大して BRIDGE を継続する州予算を当局に要求中である。
(イ) 州教育局がニュースレターの編集過程を理解し、その過程に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> • 合計で 6 号のニュースレターが発行された。州教育局の BRIDGE 担当者は、4 号までは寄稿し、5 号からは編集会議に参加した。6 号以降ニュースレターの発行は州教育局に完全に移管された。
(ウ) 対象郡の各郡教育事務所がプロジェクト実施期間中に最低 1 回「オープンデー」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> • 3 年次には各郡で 1 回ずつ開催された。 • 合計で 26 の州教育事務所担当官、310 人の学校委員会メンバー、500 名以上の地域住民が参席した。

3. インパクト分析

「インパクト分析」では、ベースライン調査（2005年）とエンドライン調査（2008年）で得られたデータを分析することにより、BRIDGEが対象校ならびに周辺地域にもたらした影響を精査した。サンプル数は設問によって異なるが、参考としてエンドライン調査におけるサンプル数は次表の通りである。

表 6：インパクト分析における標本数（エンドライン調査）

	サンプル数/学校 (目安)	回答者数		
		パイロット校	コントロール校	合計
学校調査	1	59	22	81
校長調査	1	59	22	81
教員調査	5	287	95	382
保護者調査	5	591	261	852
合計		996	400	1,396

(出所) エンドラインサーベイ (2008)、BRIDGE

両調査（ベースライン調査、エンドライン調査）の詳細は各報告書に委ねる。インパクト分析結果によると、BRIDGEの好影響は以下の点において顕著である（詳細は添付9参照）。

- 就学数の増加（男女共に）
- 学習環境の改善
- 学校－地域の協力関係の醸成
- 女子教育の阻害要因についての認識の変化
- 学校による契約教員の雇用が、女子就学の鍵であること

3.1 就学数の増加（男女共）

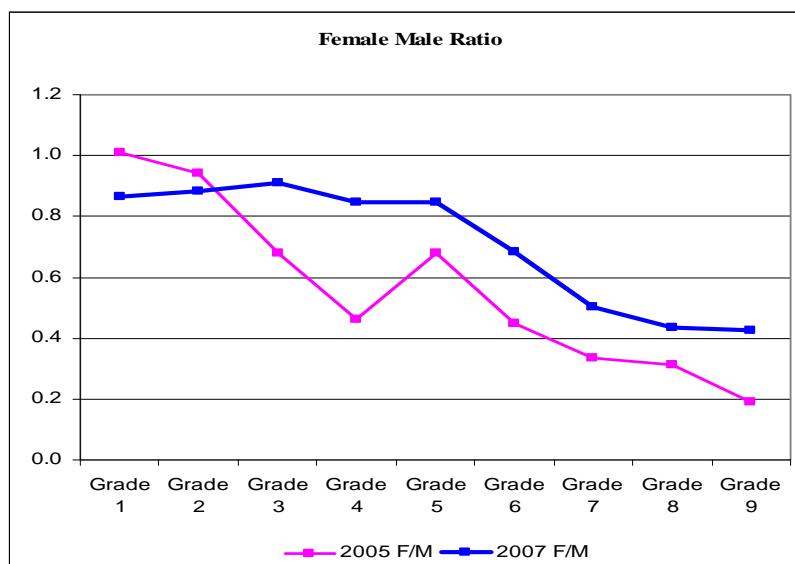
- 対象全校、全学年において、女子、男子両方の就学が増加した。1年生、2年生の増加では男子が女子を上回る。
- 女子生徒の就学状況が格段に向上した。特に高学年における女子の就学維持が顕著である。
- 改善の余地はいまだ残るものの進級率は上昇し、落第・中退率は減少した。

表 7：生徒の就学状況（パイロット 59 校）

学年	女子生徒				男子生徒			
	ベースライン時 (04/05 年)	エンドライン時 (07/08 年)	残存率	増減 (%)	ベースライン時 (04/05 年)	エンドライン時 (07/08 年)	残存率	増減 (%)
1 年生	1,888	2,117		12.1	1,870	2,444		30.7
2 年生	1,507	1,745		15.8	1,599	1,972		23.3
3 年生	857	1,698		98.1	1,261	1,865		47.9
4 年生	622	1,287	68.2	106.9	1,341	1,519	81.2	13.3
5 年生	622	984	65.3	58.2	916	1,164	72.8	27.1
6 年生	336	627	73.2	86.6	749	918	72.8	22.6
7 年生	214	436	70.1	103.7	639	871	65.0	36.3
8 年生	143	294	47.3	105.6	457	676	73.8	47.9
9 年生	92	245	72.9	166.3	480	574	76.6	19.6
合計	6,281	9,433		50.2	9,312	12,003		28.9

(出所) ベースラインサーベイ (2005) とエンドラインサーベイ (2008)、BRIDGE

- 女子生徒比率（対男子生徒）は 0.65（2004 年）から 0.79 に改善した。男子入学者の急増による 1、2 学年を除き、全学年において同比率は改善（増加）した。



(出所) ベースラインサーベイ (2005) とエンドラインサーベイ (2008)、BRIDGE

図 3：女子生徒比率（対男子生徒）の変化

- コントロール校では就学数が減少した学年も散見され、対象校の上記のような傾向は特筆に価する。

表 8：生徒の就学状況（コントロール 25 校）

学年	女子生徒				男子生徒			
	ベースライン時 (04/05 年)	エンドライン時 (07/08 年)	残存率	増減 (%)	ベースライン時 (04/05 年)	エンドライン時 (07/08 年)	残存率	増減 (%)
1 年生	568	341		-40.0	380	434		14.2
2 年生	485	284		-41.4	368	305		-17.1
3 年生	237	296		24.9	290	223		-23.1
4 年生	229	282	49.6	23.1	238	242	63.6	1.7
5 年生	209	235	48.4	12.4	222	235	63.8	5.9
6 年生	173	165	69.6	-4.6	249	179	61.7	-28.1
7 年生	106	117	51.0	10.4	174	162	68.0	-6.9
8 年生	127	115	55.0	-9.4	154	121	54.5	-21.4
9 年生	105	103	59.5	-1.9	166	138	55.4	-16.9
合計	2,239	1,938			2,241	2,039		

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE

- 女子生徒比率（対男子生徒）の改善度合いは、郡により差がある。中でも Maqbanah の変化率は小さいが、男子生徒の増加率が高いことによる。

表 9：女子生徒比率（対男子生徒）（対象郡）

	Same	Maawiyah	Maqbanah	Al Waziyah	Al Makha	Dhubab
2004/2005	0.54	0.43	0.41	0.84	0.43	0.84
2007/2008	0.77	0.65	0.45	0.93	0.73	1.06

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE

3.2 学習環境の改善

- 学習環境が大幅に改善した（教室数 337→420、女子学級向け教室数 44→79、女子トイレ 9→66 等：下表参照）。
- BRIDGE が直接助成する活動のほかにも、自発的な改善活動が実施された。例えば地域住民が自発的に学校敷地の塀を建設する事例がいくつか報告されている。
- 施設の改善と同時に対象校は多くの契約教員を雇用した。施設と教員の両条件がそろい、学年を拡充した学校も多い。1-9 学年揃った学校数は、BRIDGE 開始時には 13 校だったが、終了時には 20 校に増加した。
- BRIDGE 対処してきたのはニーズ全体の一部に限られる。今尚多くの学校で教室、トイレ、飲み水、黒板等多くの施設の改修を要する。

表 10：利用できる学校施設数（対象 59 校合計）

施設	ベースライン時 (04/05 年)	エンドライン時 (07/08 年)
教室	337	420
女子学級用教室	44	79
図書室	1	5
学校図書	0	310
実験室	2	2
職員室	11	25
校庭	11	20
男子トイレ	39	64
女子トイレ	9	66
飲用水	1	39
電気	2	1
塀	5	26
机椅子	2,844	5,118
黒板	310	377
教科書	2,061	912

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE

3.3 学校－地域の協力関係の醸成

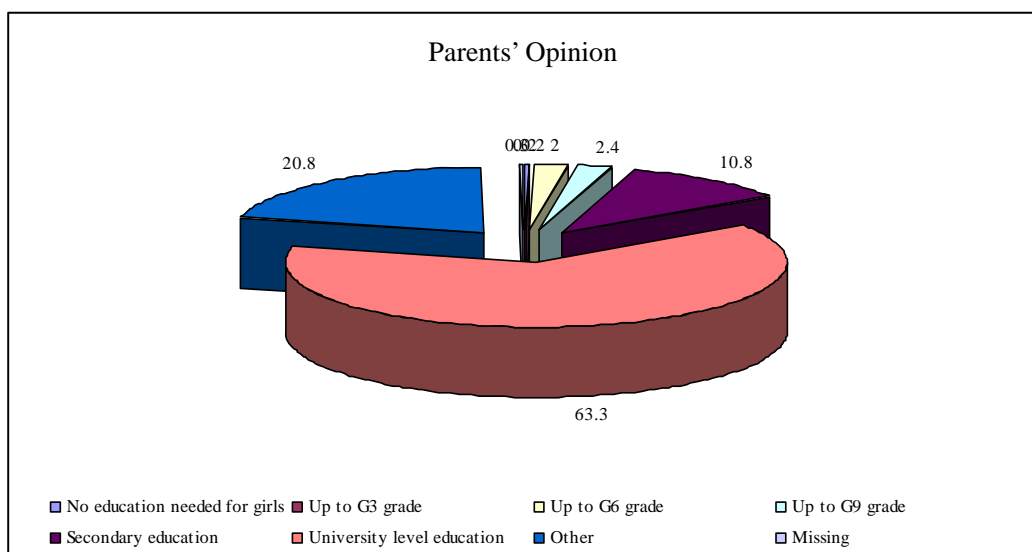
- 校長の多くは、学校経営能力が向上したとは認識していない。ベースライン時に比較して顕著な変化は観察されなかった。
- その一方で、地域との関係は大きく向上したとみる校長が多数派である（下表）。

表 11：地域・保護者についての校長の認識（サンプル数 59）

校長の認識 (BRIDGE 前と比較して)	悪くなった (%)	変わらない (%)	良くなった (%)	ずっと良くなった (%)
地域の教育への理解・尊重	0	1.7	50.9	47.4
学校教育への保護者の協力	1.7	1.7	71.2	25.4
女子教育への保護者の協力	0	6.78	61.0	32.2

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE

- 一方、保護者の学校・教育への感心は大きく高まった。宿題の面倒をみる、担任の先生とより頻繁にコミュニケーションを図る等の変化がみられる。
- 子供を大学までやりたいとする保護者も多数派となった（下図）。



(出所) ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE

図 4：保護者の認識：娘にどこまで教育をうけさせるか

3.4 女子教育の阻害要因についての認識の変化

- 以前は「女子教員の不足」「女子学級用教室の不足」「交通手段の不足」「塀が無い」「早婚」「親の貧困」「卒業後の職が無い」などの要因が女子就学の阻害要因として多く認識されていた。
- BRIDGE 終了時には、これらは阻害要因と認識されているものの、その度合いは薄まった傾向にある。特に、「女子教員」「教室」の不足女子就学の阻害要因とする見方は弱まった。
- 「父親・母親の教育の理解不足」が問題だとする校長・教員が多いのに対し、保護者の意見はその反対である点が興味深い。

表 12：女子就学の阻害要因

阻害要因	校長		教員		保護者	
	ベースライン	エンドライン	ベースライン	エンドライン	ベースライン	エンドライン
女性教員の不足	1.68	0.59	1.43	0.24	1.76	0.61
女子学級用教室の不足	1.72	0.51	1.54	0.50	1.75	0.61
父親の教育への無理解	0.68	1.20	0.98	1.01	0.71	0.33
母親の教育への無理解	0.72	0.83	0.82	0.85	0.71	0.24
交通手段の欠如	0.87	0.02	0.83	0.20	0.99	0.30
塀が無い	1.19	-0.37	0.94	-0.74	1.00	-0.31
女子トイレが無い	1.59	0.31	1.47	0.24	1.15	0.63
女兒の家事負担が過多	1.45	0.81	1.06	0.63	0.84	0.17
早婚	1.30	0.76	1.15	0.83	1.03	0.76

阻害要因	校長		教員		保護者	
	ベースライン	エンドライン	ベースライン	エンドライン	ベースライン	エンドライン
保護者の経済的貧困	1.60	0.49	1.41	0.78	1.57	0.94
授業が非実用的	-0.34	0.00	-0.22	-0.78	-0.40	-0.40
学校での教鞭使用	-0.66	-0.69	-0.56	-0.71	-0.42	-0.79
卒業後の就業機会の欠如	1.64	0.53	1.36	0.52	1.18	0.03
教科書不足	0.00	-0.71	0.24	-0.41	0.00	-0.30
通学距離が長すぎる	0.59	-0.31	0.66	-0.01	1.00	0.36

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE
「多いに賛成」を2点、「大いに反対」を-2点として数値化。賛成する意見が多いほど、数値が大きくなる。1を超える欄を網掛けした。

- 保護者、校長共に女子就学、地域参加に関する認識が大幅に改善した。
- 特に校長の意識の変化が顕著である。「娘と息子両方いた場合、両方を学校にやるように最善を尽くす」、「男子も女子も等しく教育を受ける権利を持つ」「女性のキャリア志向を支持する」「学校教育の改善のためには地域の協力が不可欠だ」に対する校長の反応の変化が大きく、興味を惹く点である。

表 13：女子就学、地域参加についての認識

女子教育に関する認識	校長		教員	
	ベースライン	エンドライン	ベースライン	エンドライン
男子も女子も等しく教育を受ける権利を持つ	-1.51	1.95	1.80	1.91
娘と息子がいた場合、娘よりも息子を学校にやる	1.06	-1.64	-1.33	-1.63
娘と息子両方いた場合、両方を学校にやるように最善を尽くす	-1.49	1.92	1.86	1.79
結婚したら女性は家にいるべきだ	0.60	-0.64	-0.58	-0.82
女性は基本的な読み書きさえできればよい	1.36	-1.14	-1.08	-1.43
女性のキャリア志向を支持する	-1.23	1.49	1.37	1.54
多くの子供を持つことは家族の幸せである	-0.21	-0.61	1.07	0.00
学校教育の改善のためには地域の協力が不可欠だ	-1.28	1.80	1.68	1.85

（出所）ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE
「多いに賛成」を2点、「大いに反対」を-2点として数値化。賛成する意見が多いほど、数値が大きくなる。

3.5 学校による契約教員の雇用が、女子就学の鍵である

- 契約教員の雇用は 3 カ年を通じて人気の高い施策であった。後者の建設・修理、がその後続く（次表）。

表 14：BRIDGE 資金の支出先（3 カ年合計、活動別）

Activities	JICA	Taiz Governorate	Community	Total
Administration Cost	2,114,240	85,700	398,658	2,598,598
Classroom Construction	9,788,365	5,747,480	1,336,716	16,872,561
Repairing Classroom	8,053,365	4,458,473	813,533	13,325,371
Construction Toilets	2,769,780	841,792	242,569	3,854,141
Repairing Toilets	612,575	139,091	74,329	825,995
Contracting Teacher	38,858,496	1,430,600	2,177,731	42,466,827
Hiring Literacy Trainer	5,111,950	248,500	173,140	5,533,590
Hiring Sewing Trainer	3,858,020	1,146,650	257,285	5,261,955
Purchasing WaterTank	2,466,153	588,303	319,736	3,374,192
Transporting Student	1,442,340	80,000	162,060	1,684,400
Purchasing Radio	2,087,930	420,991	83,509	2,592,430
Organizing School Events	1,979,045	374,905	332,671	2,686,621
Cleaning Activities	185,100	66,484	18,910	270,494
Health Care Activities	409,150	132,984	45,820	587,954
Purchasing Teaching Materials	347,230	191,966	28,736	567,932
Awareness Meeting	323,600	103,340	236,960	663,900
Supplying Water	597,650	88,900	558,000	1,244,550
Purchasing BlackBoards	425,000	108,900	18,900	552,800
Training for teachers	397,000	139,000	29,000	565,000
Purchasing School Furnitures	480,130	299,200	43,100	822,430
Purchasing School Stationeries	15,400	56,000	5,350	76,750
Transporting Chairs	406,820	9,000	100,380	516,200
School Uniform	698,685		75,215	773,900
School Bags	776,386		63,300	839,686
School fees	48,050		0	48,050
Others	274,950		0	274,950
Total	84,527,410	16,758,259	7,595,608	108,881,277

（出所）JICA-BRIDGE チーム

- 教員の確保が僻地部における女子就学の促進の鍵であった。女性教員でなくともよい。地元出身の男性教員ならば、女子就学促進の要因となる。
- そのほか保護者の啓発、トイレ建設等が、女子就学促進に効果があったと認識されている。
- 学校委員会が自ら起案、実施する BRIDGE 方式は、学校による契約教員雇用をはじめ、各種の学校改善活動を推進する、有効なやり方であった。

表 15：BRIDGE では何が効果的だったか？

どの要因を改善するの が、効果的か？	校長		教員		保護者	
	%	N= 59	%	N = 287	%	N = 591
女性教員の不足	20.2%	35	21.9%	188	24.0%	352
女子学級用教室の不足	9.2%	16	15.0%	129	18.8%	275
父親の教育への無理解	17.9%	31	17.8%	153	15.1%	222
母親の教育への無理解	21.4%	37	15.6%	134	12.1%	178
交通手段の欠如	4.0%	7	3.5%	30	2.3%	34
塀が無い	.6%	1	2.0%	17	4.2%	62
女子トイレが無い	10.4%	18	9.6%	82	10.2%	150
女兒の家事負担が過多	2.3%	4	1.9%	16	0.5%	8
早婚	1.2%	2	1.6%	14	0.4%	6
保護者の経済的貧困	5.2%	9	2.9%	25	6.3%	93
授業が非実用的	1.7%	3	.7%	6	1.7%	25
学校での教鞭使用	2.9%	5	1.3%	11	0.6%	9
卒業後の就業機会の欠如	1.2%	2	3.5%	30	1.0%	14
教科書不足	1.2%	2	1.3%	11	2.5%	36
通学距離が長すぎる	.6%	1	1.4%	12	0.3%	4
Total	100.0%	173	100.0%	858	100.0%	1,468

（出所） ベースラインサーベイ（2005）とエンドラインサーベイ（2008）、BRIDGE
複数回答。10%以上の欄を網掛けした。

4. 教訓と提言

以下の点が有効、重要であることが明らかとなった。これらは BRIDGE を通じて得た教訓である。

4.1 地方の中でもさらに後進地域を対象地域に含める

「包括的な学校改善 (WSD: Whole School Development)」を採用する BRIDGE 型施策においては、立ち遅れている地方部における教育改善が可能である。学校委員会による計画を助成することで、「見捨てられていた」地域に活力とやる気をもたらす。

BRIDGE 対象地区を視察した教育省担当者によれば「タイズ州に、これほどひどい状況の学校がこんなに沢山残っているとは認識していなかった」。都市部と地方部、また一つの郡内においても、学校間の格差は大変なものである。地方の小規模校は、創設以来間もなくかつ資金源が限られているため、教員不足等の厳しい運営環境におかれる傾向がある。BRIDGE では、一つの地区内の学校はすべて対象にし、原則として一律の金額を全校に助成した。上記のような学校間の格差を考慮すると、幹線道路より大きく外れた僻地になる、より状態の悪い学校を対象にするなどの対象校選定も一考の価値があろう。

4.2 学校へのアクセスと教育の質の両方を同時に勘案する

BRIDGE を通じて対象校での進級率は大幅に改善したが、更なる改善の余地がある。

- BRIDGE では出席簿の導入、児童（女児）への接し方の改善など、学校における教員の職務の質（教育の質）の改善を試み、好評であった。
- 教育の質のさらなる向上には、校長の当事者意識と意欲が重要である。そうした趣旨の喚起と周知に BRIDGE は努めてきた。継続した DEO によるフォローアップが必要である。
- 女子就学の周知徹底は、学校の近所の集落に限られる傾向がある。離れた集落に契約教員がいる場合は、契約教員が周知機能を果たせるが、それ以外にはなかなか有効な手立てがないのも現実である。留意すべき事項の一つである。

4.3 地元出身の教員を雇用する

学校は契約教員に「村外の女性より地元の男性」を選定することを望んでいる。こうした地元出身の教員雇用は有効である。

- 毎日出勤することがたやすい。したがって毎日学校に出勤し、欠席が少ない。域外から通勤してくる教員に比べて職場放棄の可能性がより小さい。
- 男性教師であっても、地元住民の良く知る地元出身であれば保護者は安心して女子児童を通学させることができる。正規教員であっても、外部の人材である場合、男性教員は地域に受け入れられない場合も多い。

- 地元出身の教員は、保護者との信頼関係を築きやすい。地域在住であれば家庭訪問などがたやすくでき、保護者や生徒達とのより濃いコミュニケーションが可能となる。またそれを通じ、学校と地域社会をより強くつなげることもできる。特に僻地の「遅れた」地域においては、外部から配置される正規教員は地域に受け入れられるまでにより長い時間を要する。
- 経済的負担が安価（通勤交通費がかからないですむ）。

留意点：契約教員から正規教員への配置換えは簡単ではない。BRIDGE プロジェクトでは初年度から契約教員の正規化に向けて政府に対して勧告をしてきたが、実際には 172 名の契約教員のうち、08 年度に採用されたのはわずか 4 名である。この背景には以下の理由が挙げられる。

- 教員ポストは非常に高い競争である。新規の教員ポストは限られており、また州人事院が扱う事項である。
- GEO や教育省は州人事院の采配に口出しできない立場にある。
- 学校が契約教員を採用するという事例は、BRIDGE がはじめての試みである。一方、現在の正規教員制度では、学校現場の教員ニーズを十分に反映するのが困難である。

4.4 「包括的な学校改善」は学校—地域関係を活性化する

BRIDGE では「学校委員会」が組織されたが、組織化に加えて、活性化させることが重要である。以下の点は、地域住民と学校関係者が協力して学校委員会を活性化させた（実際に委員会を用いて学校改善活動を実施した）ことにより実現した成果であり、再掲に値する。

- 学校委員会は、BRIDGE 資金を公正明大に管理する能力がある。
- 学校委員会は、地域と学校を結ぶ役割を果たす能力がある。
- 学校委員会は、「Plan-Do-See」による年間計画、具体的な活動計画の共有を通じ、学校改善活動を実施することができる。

4.5 イスラム教に基づく就学促進メッセージを、複数チャネルを通じて普及する

BRIDGE では、イスラム教に基づく就学促進メッセージを、複数チャネルを通じて普及した。これは、保護者や校長の女子教育への理解を向上させるに大変に有効であった。郡教育事務所の担当によれば「特に読み書きできない保護者に対して、視聴覚に訴えるパンフレットとラジオドラマのカセットテープの効果は抜群だった。また、メッセージはイスラムのメッセージだ。誰もが耳を傾け、反対の余地はない」。こうした機材は、地元の説教師も利用できる汎用性も持つ。また、地元のジャーナリストを対象とした、スタディツアーも大変に効果的であった。彼らにとっても普段接する機会のない教育後進地域の実態を知る機会となり、またそれを報道する契機を提供できた。

4.6 「包括的な学校改善」事業におけるDEO、州教育局担当官の能力強化とは

州教育局、DEO の、学校を「監督」「管理」する能力ではなく「支援する能力」を伸ばすことが重要である。ガイドラインにおける役割分担も、こうした配慮に即した記述されている。州教育局、DEO に対する研修の後には、実際の学校支援の現場を OJT の機会としてとらえ、現場で働く州教育局、DEO を支援し勇気付けることも肝要である。

4.7 省庁間の協力体制の確立

BRIDGE では、学校の直接助成（送金）、契約教員の正規雇用化など、前例の無い試みがいくつかなされた。これを制度化するためには、教育省内の関係部局間の調整、教育省の中央と州の調整、ならびに中央・州の複数の省庁をまたいだ連絡・協力体制の確立が不可欠である。例えば、タイズ州政府は BRIDGE の継続に乗りだしたが、これを軌道に乗せるためには、州教育局長のリーダーシップと、州議会の支援が引き続き不可欠である。同時に教育省による、BRIDGE 運営経費（研修費、交通費）の州教育局への補助も大きな助けとなる。また契約教員の正規教員化には、州人事院の理解・協力がなくして実現しない。さらに学校への直接助成（送金）の実現には、財務省や州財務局と協働して送金スキームを開発する必要がある。こうした省庁間の協力体制は端緒にすぎたばかりであり、その確立はこれからである。

4.8 BRIDGE対象範囲拡大に伴う提言

JICA 専門家チームによる現在の支援が終了後も、タイズ州政府、タイズ州教育局は、自己財源にて BRIDGE を継続する意向を有している。タイズ州教育局は、BRIDGE を現行の 6 郡・59 校に、対象校を追加することを検討中である。また、教育省も BRIDGE モデルによる施策を他州に普及する意向を有している。以下は、対象範囲が拡大しても、BRIDGE が各所で成功を収められるよう重要事項としてイエメン側に対して提言したものである。（本提言は、08 年 11 月に行なわれた JCC にて議論され、JCC ミニッツに討議の上の合意事項が記載されている。詳細は、添付 8 を参照されたい。）

- (1) 学校向けの助成資金のみならず、研修やモニタリング費用も確保すること。JCCでは、研修費については教育省が負担すること、モニタリング費用についてはGEO、DEO分については州議会予算より確保すること、教育省分については教育省が確保することが合意された。
- (2) 学校が直接助成金を受け取れる仕組みを確立すること：現行のイエメン政府の規定では、学校は政府資金を直接受け取ることができない。また用途も限定的である。これらを改める送金の仕組みが必要である。2008 年 11 月のBRIDGEプロジェクト終了時には、政府施策である学校運営資金の学校への直接送金は実現しておらず、2008 年度分については郡会計局を通じて学校に供与される運びである。教育省は、財務省、内閣と協議を続けており、2009 年度には国庫から学校口座（銀行または郵便局）への直接送金を目指すとしている。そのため、JCCでは教育省が今後も引き続き、学校への直

接送金の優位性について、BRIDGEの事例をもとに財務省に働きかけていくことが確認された。

(3) 契約教員の継続的確保と能力・資質の担保：

- ① BRIDGE で採用した契約教員の正規化に向けて：次期の BRIDGE を開始する以前に、イエメン政府は契約教員を正規雇用するのが筋である。もしそれが非現実的であるならば、学校が直接契約教員（高卒以上の学歴を要件とする）と契約を交わせる仕組みを整備すべきである。JCC では、2009 年度には BRIDGE 契約教員として残る 125 名のすべての契約教員を採用する。これには、高卒男性教員も含まれる。タイズ州教育局が 2008 年度については学校資金を通じて採用を継続することが確認された。
- ② BRIDGE の今後の拡大に向けた契約教員制度の見直し：契約教員の男女は問わない。有能な人材を地元から登用することが有用。地元の人材を教員として活用することを可能にするには、現在の制度を勘案すると女子は高卒以上、男性はディプロマ以上と男子の要件を政府基準にあわせることが妥当である。

→BRIDGE 型施策の責任ある継続には、学校契約教員の正規登用の道、あるいは学校契約教員の確保の道を探ることが不可欠である。

JCC 討議では、BRIDGE の次期フェーズで契約教員を採用する際には、事前に教育省、人事院、財務省、州教育局、州人事事務局、州財務局の承認を得ることが必要であること、ただし、学校が誰を採用するかを決める権限を保持できるようにすることの大切さが確認された。

- (4) 助成金額の再検討：学校の規模に応じた助成金算定式を提案
- (5) 他の類似した学校改善型の事業（世界銀行BEDPの「Whole School Development (WSD)」や、ユニセフ「Children Friendly School」等）との調和
- (6) 郡付け視学官の学校支援、モニタリングへの動員：現行のBRIDGEでは郡教育事務所の職員が主に学校支援、モニタリングに従事してきた。郡教育事務所には視学官も配置されている。今後はその活用も検討に値する。

付録

付録 1

Appendix 1 Project Design Matrix (PDM₀) of Broadening Regional Initiative for Developing Girls' Education (BRIDGE) in Taiz Governorate (Agreed on March 22 2005)

Narrative Summary	Objectively verifiable indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Super Goal Every girl and boy completes her/his basic education in Taiz Governorate in accordance with BEDS by 2015</p>	<p>1. Boys' and girls' enrollment rates from in G1 to G6 in Taiz Governorate (100%) 2. Boys' and girls' enrolment rates from G1 to G9 in Taiz Governorate (90%)</p>	<p>Census issued by the Statistical office – school-aged population Enrollment number of students by Department of Statistics, GEO Statistical recalculated document by using above two information</p>	
<p>Overall Goal Girls' enrollment rate in Taiz Governorate is increased</p>	<p>Girls enrolment rate from G1 to G9 in the targeted areas</p>	<p>Census issued by the Statistical office – school-aged population Enrollment number of students by Department of Statistics, GEO Statistical recalculated document by using above two information</p>	<p>Yemeni Governmental and Taiz government continue to promote and implement the BEDS strategy.</p>
<p>Program Purpose The effective model of regional educational administration based on community participating and school initiatives is established for improving girl's access to educational opportunities in the targeted districts in Taiz Governorate</p>	<p>1. Guidelines for promising girls' education in Taiz Governorate is made 2. Female students' ratio against a male student in G6 in the targeted area</p>	<p>1. Girls Education Promotion Guideline is printed 2-1 Census issued by the Statistical office – school-aged population 2-2 Enrollment number of students by Department of Statistics, GEO 2-3 Statistical recalculated document by using above two information</p>	<p>Ministry of Education and Ministry of Finance continue to allocate the necessary budget for the implementation of BEDS strategy.</p>
<p>Output 1. Taiz Govern rate's capacity on regional educational administration is enhanced 2. Community participation in basic education is activated in the targeted areas 3. School management capacity is enhanced in the targeted area</p>	<p>1-1 Number of training programs conducted for GEO & DEO officers 1-2 Number of the activities conducted among schools, DEO & GEO 1-3 Number of awareness raising activities for promoting girl's education 2-1 Number of fathers' & mothers' councils established and their number of the activities conducted 2-2 The actual number of reports to DEOs done by facilitators 2-3 Number of reports to DEO done by facilitators 2-4 Parents' and communities' expectations for and awareness of their daughters' and students' education which are raised through their activities 3-1 Number of training for school administrators 3-2 Number of meetings conducted at the school level 3-3 Expectation of parents and community for schools 3-4 Number of reports on the schools' activities to DEO done by school administrators</p>	<p>1-1 Number of training courses and trainees. Training reports 1-2 Program progress reports 1-3 Program progress reports, pamphlets for campaign 2-1 Number of fathers' and mothers' councils set up, the activities records, progress reports 2-2 Seminars conducted and the number of attendant 2-3 Activities conducted by the facilitators and its progress reports 2-4 Results of incentive survey? in terms of school education 3-1 Number of seminars conducted and the number of attendants 3-2 Number of meetings held, attendants, and Program progress reports 3-3 Results of expectation survey in terms of school management 3-4 Program activities and Program progress report</p>	<p>Allocated number of teachers to basic education school is not decreased but increase in accordance with the school age population</p>
<p><u>Activities for Output 1: Capacity Development for Regional (Governorate & District) Educational Administration</u> 1-1 Conduct workshops on the objectives and concepts of BEDS including the skills and knowledge of girls' education promotion and community participation for relevant GEO/DEO officers and local Board /Local Council member 1-2 Organize awareness raising activities for promoting girls' education in whole Taiz Governorate 1-3 Conduct base-line survey on the situation of basic education 1-4 Establish cooperation network among targeted schools, communities, DEOs and GEO 1-5 Make an educational development plan in each targeted district based on the Governorate BEDS 1-6 Formulate operational guidelines for pilot projects (objective, criteria for activities, procedures, how to make proposal, etc) 1-7 Conduct training on how to monitor the progress of pilot project (to be proposed by both communities and schools) for DEO officers in the targeted areas 1-8 Monitor the pilot project 1-9 Conduct regular workshops on the pilot projects and share experiences, problems and lessons learnt through the pilot project at district and Governorate levels 1-10 Conduct the end-line survey 1-11 Formulate guidelines for promoting girl's education in Taiz Governorate based on the results of Activities 1-8, 1-9, and 1-10</p> <p><u>Activities for Output 2: Increasing Community People's Active Participation in Promoting Girls' Education</u> 2-1 Conduct workshop on the outline of the Program and pilot project (to be proposed by community) for relevant GEO/DOE officers, school-related people, and community people 2-2 Select facilitators in the targeted communities 2-3 Establish fathers' and mothers' councils at the targeted schools if there is no such councils 2-4 Report the results of the baseline survey to the targeted school administrators and community people and give them some advices on the issues of basic education to be addressed. 2-5 Conduct workshops and training on the role/responsibility of and how to activate the fathers' and mothers' councils established for the members of the council 2-6 Conduct regular workshops on the importance of education, especially girls' education for the member of the fathers' and mothers' council 2-7 Conduct meetings among the members of the fathers' and mothers' councils, community representatives, female and male students, and school related people, and facilitate them to identify their educational issues and development needs in the communities 2-8 Conduct meetings among the stakeholders motioned in Activity 2-7, and facilitate them to decide and make plans for their pilot projects (to be proposed by communities) based no the needs identified and DEO's plans made in Activity 1-5 2-9 Facilitate relevant stakeholders to implement the pilot projects (proposed by communities) planned in Activity 2-8 2-10 Monitor and report regularly the progress of the pilot projects (proposed by communities) to relevant DOEs (by the facilitators selected in Activity 2-2)</p> <p><u>Activities for Output3: Capacity Development for Administrators in School Management</u> 3-1 To Conduct training on school management, girls' education promotion and so on for school administrators (headmasters/mistress and deputy headmasters/mistresses) 3-2 Establish school improvement committees within the targeted schools, of which members consist of school administrators (including teachers and inspectors), representatives of male and female students, members of fathers' ad mothers' councils and DOE officers 3-3 Conduct meetings among the members of the school improvement committees established in Activities 3-2, and facilitate them to identify the needs to improve school management and educational quality at their schools 3-4 Conduct meetings among the members of the school improvement committees, and facilitate them to decide and make plans for their pilot projects (to be proposed by schools) based on the needs identified and DEO's plans made in Activities 1-5 3-5 Facilitate relevant stakeholders to implement the pilot projects (proposed by schools) planned in Activity 3-4 3-6 Monitor and report regularly the progress of the pilot projects 'proposed by schools) to relevant DOEs 'by the representatives of the school improvement committee</p>	<p>INPUT <Japanese Side> <Yemeni Side></p> <p>Human Resource Experts for the following fields: Regional educational administration Girls' education/gender community participation Others Facilitator for community participation Monitoring Personnel</p> <p>Equipment and materials Vehicles for monitoring Others Counterparts' Training in Japan 2-3 persons per year 8-10 person in total</p> <p>Budget Assistance for pilot projects Other program cost including training allowance for the 1st and 2nd year as necessary</p>	<p>Trainees from GEO, DEO and schools or communities at technical courses or seminars continues to participate in the program</p> <p>Precondition Educational administrators and officers, school staff, communities people local councils officers don't oppose the program design and implementation</p>	

Modified Project Design Matrix after Mid-term Evaluation (PDM1)

Project Title: Broadening Regional Initiative for Developing Girls' Education (BRIDGE) in Taiz Governorate

Project Period: June 2005 to November 2008

Target Areas: Mawiyah, Maqbanah, Al Makha, Dhubab, Same' and Al Waziyah (6 districts)

Target Group: GEO, DEOs, schools and community

Updated: September 9, 2007

Narrative Summary	Objectively verifiable indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Super Goal Every girl and boy completes her/his basic education in Taiz Governorate in accordance with BEDS by 2015</p>	<p>1. Completion rate in G9 in Taiz Governorate</p>	<p>Completion rate by Department of Statistics, GEO</p>	
<p>Overall Goal Girls' access to basic education in Taiz Governorate is increased.</p>	<p>1. Female students' ratio against a male student in G1-G9 in Taiz Governorate is increased.</p>	<p>Enrollment number of students by Department of Statistics, GEO</p>	<p>Yemeni governmental and Taiz government continue to promote and implement the BEDS strategy.</p>
<p>Project Purpose The effective model of regional educational administration based on community participating and school initiatives is developed for improving girl's access to educational opportunities in the targeted districts in Taiz Governorate</p>	<p>1. Guidelines on implementing BRIDGE model, especially from perspective of promotion of girls' education is in place and understood by key stakeholders. 2. GEO is capable of managing BRIDGE implementation by using the developed guideline. 3. Female students' ratio against a male student in G1-G9 in the target districts is at least 0.78. 4. The total number of students (both boys and girls) does not decrease.</p>	<p>1-1 Assessment by GEO and MoE on contexts of the guideline, including a set of formats. 1-2 Analysis of studies (examples) on successful cases for promotion of girls' education which will be included in the guideline. 2 Self assessment by GEO and assessment by Japanese experts. 3&4 Enrollment number of students by Department of Statistics, GEO</p>	<p>Ministry of Education and Ministry of Finance continue to allocate the necessary budget for BRIDGE. The BRIDGE model is disseminated in Taiz Governorate.</p>
<p>Output 1. Taiz Governorate's capacity on regional educational administration is enhanced. (Target: GEO and DEOs) 2. Community participation in basic education is activated in the targeted areas (Target: School Committees, Fathers' Councils and Mothers' Councils) 3. School management capacity is enhanced in the targeted areas. (Target: Head teachers) 4. Steps for disseminating the BRIDGE model beyond the pilot schools and the target districts are initiated.</p>	<p>1-1 GEO and DEOs understand their roles and responsibilities in BRIDGE implementation. 1-2 GEO and DEOs can manage each steps minimally required in the BRIDGE management cycle. 2-1 DEOs assess that community participation is increased. 2-2 Both school and community assess that community participation is increased. 2-3 Parents' and communities' understanding about the importance of education is increased. 2-4 Women's participation of school activities is increased. 3-1 Head teachers understand roles and responsibilities in BRIDGE implementation. 3-2 Understandings of head teachers on the importance of girls' education is increased. 4-1 GEO participates in the process of planning and implementation of workshops to share BRIDGE experiences among the target districts. 4-2 GEO understands the editing process of the news letter and involves in the process. 4-3 DEOs in each target district organize Open Day at least once during the Project implementation period.</p>	<p>1-1&1-2 Self-assessment (self-assessment sheet) and assessment by the JICA Expert Team. 2-1 Evaluation criteria sheet developed by the Project. 2-2 Data compiled by JICA-BRIDGE team and Focus group interviews 2-3 Data compiled by JICA-BRIDGE team Focus group interviews 2-4 Focus group discussions and assessment by school head teachers/DEOs 3-1 Self-assessment and assessment by DEOs 3-2 Data and Focus group interviews 4-1 Activity records 4-2 Focus group interview and assessment by the JICA Expert Team. 4-3 Activity records</p>	<p>Trained GEO team remains as C/Ps.</p>
<p>1-1 Hold an inception report seminar to introduce the initiation of BRIDGE Project 1-2 Organize awareness raising activities for promoting girls' education in the whole Taiz Governorate 1-3 Hold monthly meetings between GEO and DEOs. 1-4 Formulate operational strategies. 1-5 Hold workshops how to prepare School Improvement Plan and end-of-year reports. 1-6 Monitor School Improvement Plan. 1-7 Conduct the end-line survey 1-8 Formulate and validate guidelines. 2-1 Formulate Fathers' and Mothers' Councils at the pilot schools if there is no such councils. 2-2 Hold community-based awareness activities. 3-1 Hold workshops on process of planning and implementation of School Implementation Plan. 3-2 Hold monthly meetings with School Committees, Fathers' Committees and Mothers' Committees to plan and monitor of activities. 4-1 Hold workshops to share experiences among pilot schools at the target districts. 4-2 Issue and distribute news letters to the districts in Taiz Governorate, MOE and other development partners twice a year. 4-3 Hold workshops to share BRIDGE experiences with the districts of Taiz Governorate, MOE and other development partners. 4-4 Hold workshops to share BRIDGE experiences with non-BRIDGE team members at GEO.</p>	<p>INPUT <Japanese Side> Human Resource Experts for the following fields: Regional educational administration Girls' education/gender community participation Others Facilitator for community participation Monitoring Personnel Equipment and materials Vehicles for monitoring Others Counterparts' Training in Japan 2-3 persons per year 8-10 person in total Budget Assistance for activities in School Improvement Plan. Other program cost including training allowance for the 1st and 2nd year as necessary</p>	<p><Yemeni Side> Human Resource Staff for Educational Sector (GEO, DEO) Facility Offices for Japanese experts Desks with chairs Telephone line Operational Cost Salaries for C/P staff Travel fees for monitoring including fuel Training allowance for the 3rd year Other expenditures</p> <p>Trainees from GEO, DEO and schools or communities at technical courses or seminars continues to participate in the project. Precondition Educational administrators and officers, school staff, communities people and local councils officers don't oppose the implementation of the Project.</p>	

付録 2

Appendix 2: Dispatch Schedule of Experts

Areas of Expertise	氏名	2005					2006					2007					2008					Year 1		Year 2		Year 3		Year 4		MM																																															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	1-1	1-2	2006年度		2007年度		2008年度		Total																									
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM	MM																										
1	◎Leader Dr. KURANAMI, Chiaki (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Dr. KURANAMI from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	0.53	0.37	1.00	0.93	0.47	3.30												
2	◎Deputy Leader/ Regional Education Admin. Dr. OGAWA, Keiichi (Kobe U.)	[Gantt chart showing field assignments for Dr. OGAWA from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	1.20	0.70	1.07	1.07	1.57	5.61												
3	◎Micro-planning/ Community Participation Mr. TANAKA, Shinichiro (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Mr. TANAKA from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	2.33	2.50	4.30	4.50	0.27 0.27	13.90 0.27												
4	◎Gender Ms. SONODA, Aya (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Ms. SONODA from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	3.53	3.43	5.50	6.00	1.90	20.36												
5	◎Girls Education Ms. Emily Allardyce (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Ms. Emily Allardyce from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	2.07	1.67	3.60	3.60	0.00	10.94												
6	Education Statistics/ Impact Assessment I Prof. KAWASHIMA, Tatsuo (Kobe U.)	[Gantt chart showing field assignments for Prof. KAWASHIMA from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	0.93	0.47	0.00	0.00	0.43	1.83												
7	Deputy Leader/ Training Planning/ Awareness Raising Dr. SAKURAI, Aiko (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Dr. SAKURAI from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	2.60	4.17	6.50	7.23	3.87 0.23	24.37 0.23												
8	Training Planning II Ms. TANIGAWA, Ayako (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Ms. TANIGAWA from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	0.00	0.00	0.00	0.70	1.33 0.43	2.03 0.43												
9	Project Coordinator/ Impact Assessment II Mr. OGITA, Ms. SHIOTA, Ms. NAKANO* (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Mr. OGITA, Ms. SHIOTA, Ms. NAKANO from 2005 to 2008]																																										F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	F	D	1.00	1.00	2.00	2.00	0.90 0.93	0.90 6.93												
* Year 1-1: Ogita, Year 1-2: Shiota, Year 2-4 Nakano		[Gantt chart showing field assignments for Mr. OGITA, Ms. SHIOTA, Ms. NAKANO from 2005 to 2008]																																										Upper: Expert Field Assignment		Lower in red: Project Coordination Assignment																															
1	◎Leader Dr. KURANAMI, Chiaki (PADECO)	[Gantt chart showing field assignments for Dr. KURANAMI from 2005 to 2008]																																																										0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.17												
3	◎Micro-planning/ Community Participation Dr. OGAWA, Keiichi (Kobe U.)	[Gantt chart showing field assignments for Dr. OGAWA from 2005 to 2008]																																																										0.00	0.00	0.03	0.00	0.03	0.06												
3	Education Statistics/ Impact Assessment I Prof. KAWASHIMA, Tatsuo (Kobe U.)	[Gantt chart showing field assignments for Prof. KAWASHIMA from 2005 to 2008]																																																										0.00	0.23	0.50	0.00	0.17	0.90												
Field Assignment (M/M)		[Gantt chart showing field assignments for Dr. KURANAMI, Dr. OGAWA, Prof. KAWASHIMA from 2005 to 2008]																																										(Excluding Project Coordination →)		13.19	13.31	21.97	23.33	10.74	80.31																										
Project Coordination (M/M)		[Gantt chart showing field assignments for Dr. KURANAMI, Dr. OGAWA, Prof. KAWASHIMA from 2005 to 2008]																																												1.00	1.00	2.00	2.00	0.90 0.93	6.93																										
Domestic Assignment (M/M)		[Gantt chart showing field assignments for Dr. KURANAMI, Dr. OGAWA, Prof. KAWASHIMA from 2005 to 2008]																																												0.00	0.40	0.53	0.00	0.20	1.13																										

付録 3

Appendix 3

Yemen BRIDGE project: Counterpart Training in Japan 27 February - 9 March, 2007

Updated: 22 Feb. 2007

Attendant: Ms. Yoko Yokoe, Training Supervisor, JICE (English)

Translator: Mr. Shadi Hijazi, Graduate School of Business Management, Kobe Univ.

Counterpart Training Schedule						
Date		A.M.			P.M.	
25-Feb	Sun	Depart Yemen				
26-Feb	Mon				Arrive in Tokyo, Japan	
27-Feb	Tue	9:30-	Briefing	JICA Tokyo	14:00 or 15:00	Visit JICA Headquarters Meet with Ms. Hara (Head of Human Development Basic Education Team, Ms. Tokuda (in charge of BRIDGE Project)) Tokyo
28-Feb	Wed		Tokyo Kobe Check in @ JICA Hyogo		13:00-13:30 13:35-15:30 15:50-17:30	JICA Hyogo Kobe Univ. Program Orientation (Attendant: Dr. Keiichi Ogawa, Ms. Miho Arimura) Seminar "Girls' Education and Economic Development in Developing Countries" (Lecturer: Dr. Keiichi Ogawa) "International Aid Agencies - JICA and Basic Education Development" (Lecturer: Dr. Mikiko Nishimura) GSICS, Kobe University, 6F Conference Room
1-Mar	Thu	9:00-10:30 10:45-12:15	Seminar "Education and Economical Efficiency: EFA to EFA:FTI" (Lecturer: Dr. Keiichi Ogawa) "Education System and Local Government in Japan" (Lecturer: Dr. Kenshi Yamanouchi)	GSICS, Kobe University, 6F Conference Room	13:30-14:00 14:15-15:45 16:00-17:00	Meet with President of Kobe Univ. (Participants: MoE officials, Prof. Ohta [Deputy President of Kobe Univ], Dr. Ogawa, JICA Training Supervisor, Translator) Seminar "Education Policy and Planning" (Lecturer: Dr. Keiichi Ogawa) Workshop "Lecture on Preparation of Annual Work Plan (AWP) FY2008" (Lecturer: Dr. Keiichi Ogawa) GSICS, Kobe University, 6F Conference Room
2-Mar	Fri	9:30-11:30	Visit Kobe City Board of Education "Learning Activities and Approach of Kobe City" (Attendant from Kobe U.: Ms. Miho Arimura)	Kobe City	13:30-15:00	School Visit "Rokkosan Primary School" (Attendant from Kobe U.: Ms. Miho Arimura) Kobe City
3-Mar	Sat	Reading and Preparation of Materials			Reading and Preparation of Materials	
4-Mar	Sun	9:00-12:00	Reading and Preparation of Materials	Kobe Univ.	13:30-17:00	Workshop "Primary Education Promotion Policy and Finance/Government System" (Lecturer: Dr. Mikiko Nishimura, Dr. Keiichi Ogawa, Others) Kobe Univ.
5-Mar	Mon	9:00-12:00	School Visit "Sumiyoshi Elementary School attached to Kobe University" "Sumiyoshi Jr. Secondary School attached to Kobe University" (Attendant from Kobe U.: Dr. Keiichi Ogawa, Ms. Miho Arimura, Mr. Toyohiko Yogo)	Kobe City	13:30-15:00 15:15-17:00	Seminar "International Organizations and Girls' Education" (Lecturer: Dr. Yuto Kitamura) "ICT and Girls' Education" (Lecturer: Ms. Yoshiko Koda) GSICS, Kobe University, 6F Conference Room
6-Mar	Tue	9:00-12:00	International Symposium "Education Public Policy and Girls' Education in Yemen" (Lecturer: Prof. Tatsuo Kawashima, Dr. Keiichi Ogawa, Dr. Mikiko Nishimura)	GSICS, Kobe University, 6F Conference Room	13:00-17:00	International Symposium "Education Public Policy and Girls' Education in Yemen" (Lecturer: Prof. Tatsuo Kawashima, Dr. Keiichi Ogawa, Dr. Mikiko Nishimura) GSICS, Kobe University, 6F Conference Room
7-Mar	Wed	9:00-10:00 10:45-12:30	Training Assessment at JICA Hyogo (Attendant from Kobe Univ.: Dr. Keiichi Ogawa, Ms. Ohkata) Seminar "Community based Management and ICT"	JICA Hyogo GSICS 6F Conference room	14:00 -17:00	Workshop "Preparation of AWP FY2008" (Lecturer: Dr. Keiichi Ogawa) GSICS 6F Conference Rm.
8-Mar	Thu	9:00-11:00-	School Visit "Rokko Island Primary School" "Minatogawa-Tamon Primary School" (Attendant from Kobe U.: Ms. Izumi Ohkata, Mr. Toyohiko Yogo)	Kobe City	13:30-14:45 15:00-16:30 17:30-20:00	Preparation AWP presentation Presentation of AWP (Attendant: Ms. Izumi Ohkata) Farewell Party (Attendant: Ms. Miho Arimura, Mr. Toyohiko Yogo) GSICS, 6F Conference Room "Mozaic", Kobe City
9-Mar	Fri	Reading and Preparation of Materials			Preparation for departure	
10-Mar	Sat	Preparation for departure			Depart Japan for Yemen	

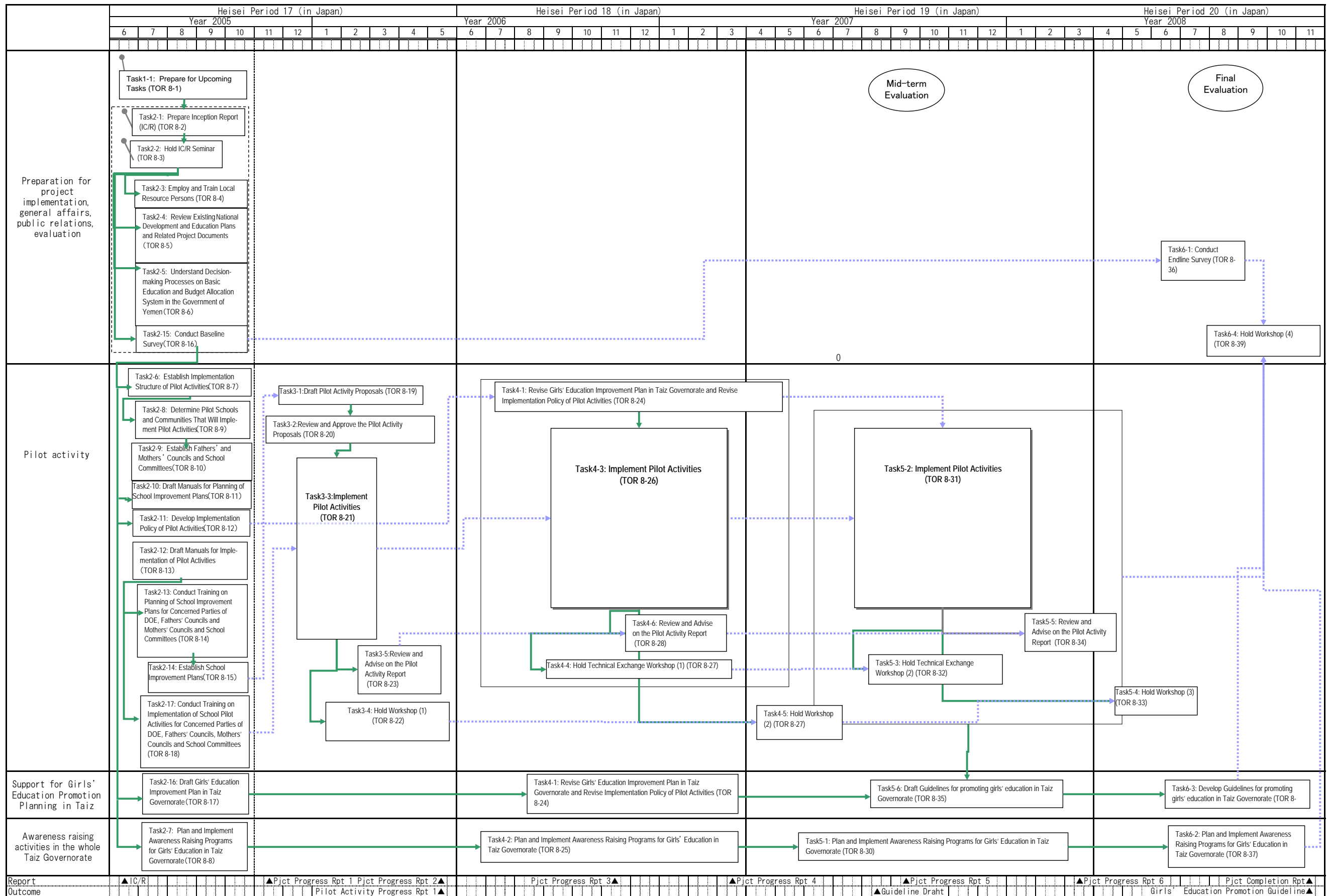
Training Agency in charge: Kobe University

Participants: Dr. Mahdi Ali Abdulsalam (Director, Taiz Governorate Education Office)
Ms. Fatheyah Al-Shawafi (General Director, Girls Education, Ministry of Education)
Ms. Muna Nasser Ahmed Ajlan (Head of Educational Services Section, Girls' Education Department, Taiz Governorate Education Office)

付録 4

付録 5

Appendix 5: Work Flow



付録 6

Appendix 6: Provision of Equipment and Materials

List of Equipment to be Provided to GEO Office of Taiz

No.	Item Name	Brand, Model	Main Specification	Quantity	Conodition	Transferor	User
1	Shared Hard-Disk	Buffalo Portable HDD 5400 rpm	HD-PH40U2/BST	1	Good	GEO	GEO
2	Wireless Lan	D-Link	WBR2-G54/P	1	Good	GEO	GEO
3	Video camera	Sony Handycam	DCRHC90	1	Good	GEO	GEO
4	Mobile phone	Nokia	001-15NOK2, NOKIA3105, NOKIA3125	3	2 Good, 1 unstable	GEO	GEO
5	Mobile phone SIM card			3	Good	GEO	GEO
6	Fax	Canon B820		1	Good	GEO	GEO
7	Scanner	Canon LDE20, Fujitsu Scan Snap		2	Good	GEO	GEO
8	Printer	Canon3200, Canon6300, CanonPixMD3000.		3	Good	GEO	GEO
9	Projector	EPSON EMP-S1H		1	Good	GEO	GEO
10	Chair		Office chairs	16	Good	GEO	GEO
11	Desk		Office desks	8	Good	GEO	GEO
12	Bookshelf/cabinet (including drawer type)			5	Good	GEO	GEO
13	SPSS (Computer Software)	SPSS BASE WINDOWS 13.0.1 Single Copy		1	Good	GEO	GEO
14	WindowsXP, Office (Computer Software)			1	Good	GEO	GEO
15	Copy machine	Minolta Digital Plain Paper Copier Di2011	Di2011	1	Good	GEO	GEO
16	Binding machine	Hopu HP118		1	Good	GEO	GEO
17	Television	Sanyo Dynamic Flat Platinum	CM21KF81P	1	Good	GEO	GEO
18	VCR	Sony DVD Player/Video Casette Recorder	SLV-D940D	1	Good	GEO	GEO
19	Computer	LG710E	MB GiG 845(5 desk- top computers)/ MB GiG865(1desk-top computer)	6	Good	GEO	GEO
20	Car	Toyata Prado	Silver and White	1	Good	GEO	GEO
21	Generator	Kipor KDE 6500T3	Diesel generator 50Hz	1	Good	GEO	GEO
22	Toner with drum	Minolta MT Toner 106A	MT Toner 106A	3	Good	GEO	GEO
23	Air-conditioner	LG	LG(2.25 Tons), LG(1Ton)	2	Good	GEO	GEO
24	Digital camera	Panasonic DMC-FX30		1	Good	GEO	GEO
25	Copy machine	Canon	NP6521	6	Good	GEO	DEOs
26	Fax	Canon	B840	4	Good	GEO	DEOs
27	Voltage Regulstor	Sassen	2000VA - 110--220V	6	Good	GEO	DEOs
28	cabinet			6	Good	GEO	DEOs
29	cabinet (drawer type)			6	Good	GEO	DEOs
30	motorbikes and accesories	Suzuki	Petrol generator	6	5 Good, 1 broken	GEO	DEOs

付録 7

Appendix 7: Local Cost by the Japanese Side

Unit: JPY

Expense Items	FY2005	FY2006	FY2007	FY2008 (Estimated Cost*1)	Sub Total
Remuneration	6,390,622	9,116,696	8,835,290	7,423,688	31,766,296
Equipment Maintenance	246,603	387,942	576,386	311,812	1,522,743
Consumable goods	255,474	385,784	525,898	360,424	1,527,580
Travel Expenses	16,652	1,566,492	1,268,182	702,000	3,553,326
Communication	385,818	327,568	308,603	207,284	1,229,273
Material Development	5,526,235	2,144,036	2,082,093	1,660,050	11,412,414
Rental Materials	1,505,674	435,795	645,854	465,692	3,053,015
Human Resource Development	1,811,037	0	0	0	1,811,037
Training	4,831,917	4,267,876	7,644,104	4,487,507	21,231,404
Unclassified Expenses	9,877	0	0	40,000	49,877
Granted Equipment			745,000	0	745,000
Equipment	9,516,000	1,103,000	101,000	0	10,720,000
Report Development	0	0	0	255,400	255,400
Contract with Local NGO	18,771,000	17,864,000	17,078,000	1,948,000	55,661,000
Construction Cost	0	33,000	0	0	33,000
Total	49,266,909	37,632,189	39,810,410	17,861,857	
Grand Total					144,571,365

* 1 : The cost in FY 2008 is subject to be changed after the closing account in November 2008